



Lions Clubs International District 336-B 7R-1Z

6LC合同会報誌



ライオンズクラブ国際協会336-B地区

地区アクティビティ・スローガン 『サムシング ニュー Something New』

地区ガバナー・スローガン 『誇りと自信 そして前へ』

新年のご挨拶

ライオンズクラブ国際協会336-B地区
ガバナー 西尾 慎一



新年おめでとうございます。6LCの合同会報が昨年度に引続き発行されますこと、大変喜ばしい事と思います。

また、会員皆様方には、日頃から地区の活動に多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

前期半年間の活動、特に各クラブへの訪問を通じ本年度のガバナー方針へのご理解を賜り、行動に結び付けて頂いております事を実感いたしており、改めまして会員の皆様方のご尽力に感謝を申し上げたいと思います。

さて、今年度は7年ぶりに会員の減少に歯止めをかけ、「会員純増30名」の目標を掲げて取組んでおり、11月末日現在17名の純増となっております。

しかしながら今後を見通すと期末での退会者の急増やクラブの解散が予測され予断を許さない状況にあります。私達のモットーである奉仕の輪を広げるためにも「会員増強と退会防止」を各クラブで今一度取組んでいただく事をお願いしたいと思います。

以上、甚だ身勝手なお願いをいたしました。2023年が貴クラブにとって、更なる飛躍の年となりますこと、また会員、地区の絆が益々強固なものとなりますことを心よりお祈り申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします。

We Serve!

新年のご挨拶

キャビネット幹事

池田 康利

7R-1Zの皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお願いいたします。昨年は、多大のご支援、ご協力、ありがとうございました。とても感謝しております。私もキャビネット幹事となり、半年が過ぎました。その間各ゾーンへの公式訪問、周年式典、委員会、ガバナー協議会などの出席と忙しく過ごしましたが、多くの方と友達になることができ、色々な勉強をさせていただき、大変、楽しい半年でした。皆様にも、どんどん地区に出ていただいて、クラブとはまた違うライオンズを楽しんでほしいと思います。今年は、地区年次大会がこの鳥取の地で開催されます。お願いばかりで恐縮ですが、ますますの、皆様方のご協力、ご支援をよろしくお願い致します。私も任期の後半分、精一杯頑張ります。

今年1年が皆様にとって良い年になりますよう、心より祈念致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

寒い折、くれぐれもご自愛ください。



新年のご挨拶

7R1Z ゾーンチェアパーソン

聲高 昌可

新年あけましておめでとうございます。

ゾーンチェアパーソンの任命を受け、皆様のご協力により何とか半期を終えることができました。

ガバナー公式訪問は懇談会のみ行い、合同例会は行わず西尾ガバナー、池田キャビネット幹事と共に6クラブを例会訪問させて頂きました。各クラブの訪問は私自身初めてでしたが、各クラブが快く歓迎して頂き大変ありがとうございました。11月には6LC親善チャリティーボウリング大会も行い楽しい親睦の場が持てました。私も10年ぶりぐらいに楽しくボーリングをしました。

新年には、6LCの懇親を深める意義と、4月にはいよいよ地区年次大会が鳥取で開催されますが、6LCが団結して取り組む決起大会の意義も含め、新年合同例会を開催することとしました。地元の7R-1Zの6クラブの皆様のご協力で大成功となるようよろしくお願いします。

その後は6月に、6LCチャリティーゴルフコンペを行い、表彰式を兼ねた懇親会を開催することとしました。

あと半期6クラブの会員皆様のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。



風紋

鳥取ライオンズクラブ

会長スローガン「新時代のWe Serve新しい発想、新たな挑戦、新しい仲間!」

新年のあいさつ



鳥取ライオンズクラブ 会長 福田 秀章

新年あけましておめでとうございます。

本年も会員の皆様の新たなスタートとご家族共の健康をお祈り申し上げます。

会長に就任しましてから早いものであまり役目を果たせてないまま半年が過ぎました。

昨年も新型コロナウイルス感染症が収まっていなくて思うような各種アクティビティや夜間例会を行うことが出来ませんでした。が少しずつ夜間例会も行っていくようになりました。でもまだまだ出来ないことが多くありますが鳥取市立若草学園の皆さんとの秋のさつま芋収穫祭が行えたのと来年の初めの鳥取こども学園との卓球大会は開催する予定をしております。

少しずつですが We Serve に励んで行って少しでも多くの会員の皆様の参加をお願いしてまた皆様の知恵を拝借して新たなアクティビティを考えながらあと半年来年の年次大会の成功に向かってゆきたいと思っております。

今年も明るく楽しい1年になることを祈念し年始のご挨拶とさせていただきます。



鳥取ライオンズクラブ 幹事 濱田 泰彦

明けましておめでとうございます。コロナウイルスの名前を耳にするようになってから早3年、中断していた社会活動も徐々に再開されてきた感がありますが、予想以上に3年間のブランクは長く、その間に行動様式が大きく変わってしまいました。仕事のやり方然り、プライベートな過ごし方然り。

クラブの活動も同様で、周りの様子を窺いながらのそろりそろりの再開ですが、アクティビティ等の実施も憂慮する中、他クラブの活動に励まされるところも大きいのではないのでしょうか。

そのような中、昨年は中止となった合同例会もようやく開催されるとのことで、新たなメンバーの交流が行われることは大きな刺激となり励みになります。同じ志を持った仲間としてお互い切磋琢磨していきたいと思っております。

今年の干支は癸卯です。うさぎが跳ねるようにクラブの飛躍の年にしたいものです。



鳥取市立若草学園の皆さんと さつま芋掘りを行いました

前会長 八矢 一城

10月12日(水)いよいよさつま芋収穫の日となりました。5月に苗を植え7月に除草・棚取付け、8月に草取りを行いやっと収穫の時期を迎えることができました。当日は朝9時前に集合し柵の撤去、茎の除去、マルチ剥し、芋掘りし易いように下ごしらえをする作業等行いましたが結構な重労働でした。参加された会員の皆さまをはじめ管理していただいた船越さんに感謝です。10時半頃に学園の子供さんや保護者の皆さま、先生方が到着され総勢62名でいよいよ芋掘り開始です。大きいのも小さいのも、形は様々でしたが若草学園の皆さんが喜んでくれたことが一番の励みとなりました。来年も開催できることを願っています。

**さつま芋と言えば何と言っても焼き芋が一番なので
自宅でできる簡単レシピをご紹介します。**



- ① さつま芋を洗い、水で濡らしたキッチンペーパーで包む。
- ② 耐熱皿にのせ、電子レンジ500Wで2分ほど加熱する。
レンジの種類やさつま芋の大きさなどによって加熱時間は変わるため、
ポイント 適宜調整してください。
- ③ 電子レンジの「解凍モード(200W)」にして、10分ほどさらにさつま芋を加熱すればOK。

美味しい焼き芋のできあがりです。是非参考にして下さい。





6LC親善チャリティー ボウリング大会

計画委員長 小林 紀子

11月14日(月)第33回6LC親善チャリティーボウリング大会が鳥取スターボールで開催されました。

各LCより総勢45名が参加し、鳥取LCからはL西尾、L田賀、L福家、L佐々木、L八矢、L小林の6名が参加しました。

本大会を通じて、皆さんが楽しく汗を流しつつ、親睦を深めるいい時間を過ごせたと思います。

私は初参加で何十年ぶり且つほとんど未経験者のボウリングでしたが、皆様が若々しく活き活きと投球される姿を横目で見ながら、気合を入れつつ、一球投げることにより一喜一憂しながら楽しませていただきました。

一球入魂!と思っても、なかなかストライクは難しかったです。健康増進にも繋がりましたが、翌日からの肩と腕の筋肉痛はきつかったです。

ちなみに個人成績ですが、L西尾さんが9位と大健闘されました。

チーム団体戦は5位!本来は8名参加でありましたが、当LCは6名の参加。人数が少ない中でも最下位は免れるという皆様のご活躍でした。

次年度は8名参加で「優勝」目指したいです。

ご参加の皆様、お疲れ様でした。





街頭献血活動に参加して

奉仕委員長 福家 成夫

12月4日(日)イオンモール鳥取北店の1階にて10:30より16:00まで街頭献血活動を行いました。鳥取ライオンズクラブからは8名の参加で少数精鋭でしたが、効率よく動かれていました。

例年ですと、ポケットティッシュを配りながら献血協力の声掛けを行うところですが、コロナ禍で手渡しは禁止との事で、また声掛けも献血の受付周辺のみ限定され、プラカードを持って行きかう人に献血協力をおこなうことしか出来ませんでした。さらに、当日はあいにくの雨模様の為、来店客が思うように伸びず献血する人もまばらで心配しましたが、午前11時30分を過ぎたころから献血される人が増えてきて午前中で20名の方が献血を実施されました。午後は鳥取ライオンズクラブの方が懸命に声掛けした結果、31名の献血実施で、合計51名と目標の40名以上に対して目標をクリアすることが出来ました。

今回、参加されたメンバーの皆さん、お疲れ様でした。また献血に協力していただいたメンバーの皆さん、ありがとうございました。

ちなみに私も献血を行いました、献血直後から何と貧血気味となり帰ってバタンキューとなったことは内緒です。体調は万全だったのですが、歳ですかね(笑)

皆さんも無理をせず新年を迎えましょう。



獅子

鳥取中央ライオンズクラブ

会長スローガン 「感謝の気持ちを忘れず We Serve」

新年のあいさつ



鳥取中央ライオンズクラブ会長 小松 哲也

新年あけましておめでとうございます。鳥取中央ライオンズクラブで本年度の会長を務めさせていただいております小松哲也と申します。

新年を迎えた現在、任期のうちようやく半分が終わったところです。本年度は当クラブ認証60周年の年でもあり、この半年間は主にその準備に時間を割いていました。特に大きく時間を割いたのは、周年事業についてです。

まず周年事業を何にするのかというところから、時間をかけて協議を重ねました。いろいろな案が出ましたが最終的にメイン事業としては、当クラブが45周年のときに手掛けた南限自然公園を整備することになりました。同公園はビオトープとして造成し、当時植えた樹木が15年の時を経て大きく生い茂って、外から中の様子が見えない状態でした。そのため人が入りにくく、せっかく良いものがあるのにもったいないと感じていました。そこで、60周年を機に大々的な整備を行って、広く市民に楽しんでもらえる公園を目指すこととしました。

また、実際に作業に入った後も多くの時間を費やしました。可能な限り会員自身の手で作業を行うこととなり、会員自らチェーンソーを持って枝を切り落とし、切った枝を一か所にまとめたりするなどしました。これまでそのような作業を3回行いました。かなりの重労働でしたが、他方で会員同士が協力してそのような重労働をすることで、達成感や連帯感を得られたのではないかと考えています。

60周年関連以外にも、鳥取・青谷の両子ども学園へのカブトムシを贈呈、小学校へのEM活性液の贈呈などの例年通りのアクティビティに加え、ウクライナを支援するため北条ワインの方に講演に来ていただくなどしてまいりました。

会長としてわからないことばかりで右往左往していましたが、充実した半年間であったと感じています。

今後、60周年に関しましては、式典や祝宴の準備もする必要があります。また、その他にも可能な限りアクティビティを行っていきたくと考えています。新型コロナウイルスの情勢が不透明なところがありますが、状況を見極めながらできる限り活動を行って、魅力あるクラブ、社会貢献できるクラブを目指していきたくと思います。今後とも、皆様のご協力とともに、ご指導ご鞭撻をくださいますようお願いいたします。最後になりますが、皆様にとりまして、この新たな年がより良き年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。



鳥取中央ライオンズクラブ幹事 松島 浩二

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春の祝詞を申し上げます。鳥取中央ライオンズクラブに人会させて頂き5年が経ち、昨年の7月より幹事という大役を仰せつかりました。まだまだ未熟なところもありますが、少しでも小松会長のお力になれるよう精進してまいります。また、本年度は鳥取中央ライオンズクラブが認証60周年をむかえるという節目の年でもあります。これまで多くの諸先輩が繋いでこられた60年という歴史の重みを感じながら半年間の活動をさせていただきました。毎月の例会・様々なアクティビティなどに参加することで会員同士の繋がりを感じながら60周年記念事業「南隈自然公園」の整備-東屋設置・令和5年5月28日(日)に控えた認証60周年記念式典に向けメンバー同力を合わせ本年度のスローガン「感謝の気持ちを忘れずwe Serve」の精神で邁進してまいります。本年もライオンズクラブの会員の皆様の益々のご繁栄をお祈り申し上げますとともに、より一層のご支援、お引立てを賜りますようお願い申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。

新 会 員 紹 介



2022年9月6日入会

ひら た しゅんすけ
平田 俊輔

(有)ヒラタ塗装工芸社
専務

本年度9月に水野由久様よりご推薦頂き、60周年となる歴史ある鳥取中央ライオンズクラブ様へ入会させて頂きました、有限会社ヒラタ塗装工芸社にて専務職を預かっております、平田俊輔と申します。どうぞよろしくお願い致します。

私は昭和55年生まれの42才となります。祖父から始まり父の稼業を継いでから20年あまり経ちます。屋外広告業を通じて様々な、こと、もの、ひとに触れ、日々成長の機会を与えて頂いております。また、この地域に愛着が湧くようになりました。家族をもち、子供たちが大人になる頃には、胸を張ってこの鳥取を愛せるという環境を作ってあげたいと思うようになりました。そして私自身40才を過ぎこの鳥取の地に感謝することが出来ています。

その鳥取に何か恩返しをたく思っているところ、鳥取中央ライオンズクラブさまからお誘い頂き、微力ですが活動を通して地域へ貢献できることがあると思入会に至りました。

60周年という長きに渡る活動には、これまで築いてこられた諸先輩方のご尽力があつてこそだと思ひます。私もその情熱をもって今後ライオンズクラブの一員として活動を行っていきたいと思ひます。目の前の事を真っすぐに見つめ挑戦して参りますので、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



2022年10月4日入会

ちや や とも じ
茶谷 友士

(有)トーケン代表取締役

この度、加藤貴義様にご推薦頂き、鳥取中央ライオンズクラブに入会させて頂きました、茶谷友士と申します。私は11月6日で48歳になりましたが、昔から体を動かす事が好きで、中学までは野球、高校からはバドミントンを始めて、現在でも週に1回、地区の体育館で汗を流しています。また、社会人になってから35歳くらいまで、ボーリングにはまり、現在は、週末にゴルフを楽しんでいます。

一生で出会うことのできる人の数は限られています。この頂いた貴重な機会を大切に、偉大な先輩方から人生を学び、沢山の方々と交流を深め、地域社会に貢献できる様に、日々精進して参りますので、ご指導のほど、よろしくお願い致します。



ウクライナ支援 ゲストスピーチを終えて

計画・情報大会委員長 加藤 貴義

11月15日第2例会ゲストスピーチにて 山田和弘様(北条ワイン醸造所専務取締役)、ピロコヴァ・マリーナ様ご夫妻にお越しいただき、「ウクライナの現状」と題してスピーチをいただきました。

北条ワイン醸造所様では、ウクライナ義援金活動を行っており、ウクライナ義援金ワインを製造され、その売り上げの一部をウクライナ大使館を通じて寄付しておられます。

鳥取中央ライオンズクラブでもこのスピーチを通して、ワインを購入し売り上げの一部を寄付して頂き義援金活動の一翼を担えたらと、云う思いで今回の企画を開催いたしました。

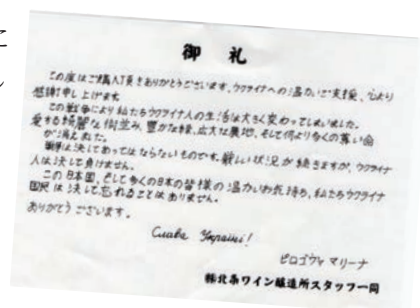
スピーチでは、ロシアによるウクライナ侵攻が始まる前のウクライナの文化や綺麗な情景や街並みの映像後に、現在の戦争により破壊された街並みを映像により説明して頂きました。

新聞やテレビ等で分かってはいても、やはり本物の映像を見るとショックを受けました。

マリーナ様のご家族は現在もウクライナで生活していますが、日本(鳥取)へ避難するよう勧めておられるとの事ですが、ご家族の思いは『ウクライナの土地を愛しているから、離れない』と告げられるようです。

この言葉にも胸を締め付けられる思いになります。今回のこの企画により、どれだけのウクライナへのサポートができたのかは分かりませんが、一日でも早くこの戦争が終結し、ウクライナに平和な日が訪れるのを願うばかりです。

短い時間でしたが、山田和弘様 ピロコヴァ・マリーナ様には貴重な時間を頂いて感謝しております。この支援の輪が少しでも広がることを祈念しております。





CN60周年記念事業 「南隈自然公園再整備」

周年実行委員会委員 広岩 勝彦

60周年記念事業として南隈自然公園のリニューアル整備に取り掛かることになりました。

鬱蒼とした木々は人を寄せ付けないイメージがあり当初の趣旨である鳥や虫、めだかの生息するビオトープ公園から人も共生でき、自由に散策できる公園へと整備していこうとしています。場所はイオン北店の南側、鳥取市千代水公園の一角で岩崎神社の隣接地です。この公園は災害時には一時避難場所にも指定され豪雨時には一時的に雨水を溜める遊水機能を併せ持っている大切な場所でもあります。45周年記念事業で市民を対象に環境教育・自然観察の場としてビオトープ公園の構築を目指し2007年10月以降整備育成に努めてきました。当初は雑草が生えた荒地と溜池があり除草から始め土地改良、水辺の葦の手入れダイスギ、クスノキ、山桜、柳などの成木の植樹また水辺には花菖蒲を植え、年々木々の植樹を増やし森を形成してきました。年に1,2回はアクティビティとして公園の草刈りをし55周年記念事業ではベンチも設置した看板も新しくしたのですが、市民が気軽に入れる雰囲気では無かったように思います。リニューアルでは風通しの良い公園を目指し、入口、遊歩道、東屋の整備をメイン事業として10月より会員一同で伐採作業に入っています。作業しながらも鳥の声に触れ、木々に季節を感じるともっと沢山の方に歩いていただく公園に整備していきたいと思いました。これから冬を迎えますが12月にもアクティビティとして整備事業を予定しています、令和5年4月初旬の完成を目指し会員一同でまだまだ汗を流しながら自然公園の整備をしていきましょう。

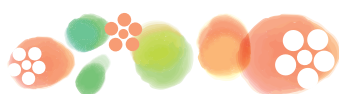




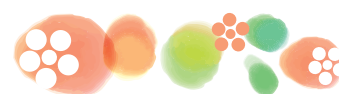
いなば

鳥取いなばライオンズクラブ

会長スローガン 「友情、尊重、心ひとつに We Serve」



新年のあいさつ



鳥取いなばライオンズクラブ会長 影山 嗣泰



新年、明けましておめでとうございます。

旧年中は、大変お世話になり心から感謝申し上げます。

本年も皆さまにとって、健康で素晴らしいライオンズライフを送られることをお祈りしております。

何卒、宜しくお願いいたします。

昨年は、コロナ禍の3年目の年でした。ワクチン接種や医療体制も確立されつつある中、社会経済活動は活発に動き始めました。当クラブも例会、アクティビティを積極的に実施してまいりました。その中で「小学生の子供達とのお米作り」では、6月に田植え、10月に刈取り、天日干し、精米を経て、小学生の子供達や鳥取城北高校相撲部、鳥取こども学園、鳥取環境大学の学生達へささやかながらのお米やお餅、みかんの贈呈を行いました。そして9月には、鳥取県東部ボーイスカウト連盟の子供達、保護者、隊長の皆さんと当クラブ会員及び家族、総勢180名の参加者で山陰海岸ジオパーク内の海岸清掃を行いました。世界的に問題となっている海洋プラスチックの海洋ゴミを回収しました。本年は、当クラブ結成55周年の年となり、まだまだ記念事業も続いてまいります。そして、336-B地区年次大会も鳥取で開催される予定です。

6LCの皆さんと2Z倉吉4LCの皆さんと共に大会が成功するように一致団結して取り組んでいきたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。頑張りましょう！



鳥取いなばライオンズクラブ幹事 山口 英晃

みなさま、旧年中は当クラブの活動を支えてくださり本当にありがとうございました。本年も引き続きよろしくお願いいたします。

幹事という大きな役目を仰せつかり半年が経ちます。新型コロナの影響も若干ありますが、ほぼ予定通りのアクティビティ、クラブ活動に関連するいろいろな行事を開催することができ、とても幸運だと思います。何よりもライオンズ活動を通じて、今まであまりお話しできなかったみなさんに広くお話しさせてもらうことができたことに心から感謝いたします。「幹事はたいへんだね」とお気遣いいただくことが時々ありますが、半年を振り返ると、とても充実した時間を過ごしており、引き受けさせていただいて本当に良かったですし、みなさんにご心配ご迷惑をおかけしていることもあるのではないかなと思います。

2023年度も当クラブ会長のキーワード「笑顔で楽しく」を忘れずに、引き続きみなさんと心をつなげて楽しくクラブ活動をさせていただきたいと心から願っております。



砂丘海岸清掃

環境保全委員長 大田 斉之

令和4年9月25日(日)に「鳥取いなばライオンズクラブ」と「日本ボーイスカウト鳥取連盟」合同での鳥取砂丘海岸清掃[山陰海岸ジオパーク区域内(福部町)]を行いました。当クラブとしては、ボーイスカウトと合同での海岸清掃は初めてでしたが、当日は、ライオンズ会員・家族等約40名とボーイスカウト関係者140名の180名が参加し、ボーイスカウトの子供たちやライオンズ会員の家族等も参加され、にぎやかな清掃となりました。

10時に開会式(オアシス広場)が行われ、影山鳥取いなばライオンズ会長と森脇日本ボーイスカウト鳥取連盟会長の挨拶でスタートしました。影山会長からは、ライオンズの概要説明と環境保全の意識を高めることが大切という今回の事業の目的等が話されました。

時間は1時間ほどでしたが、天気も良く、気持ちよい海岸清掃となりました。清掃する海岸のフィールドとしても、ちょうどよい広さで、一帯がきれいになり達成感もありました。ゴミは、台風の後で多くあり、ペットボトル、漁具、流木のほか、注射器等も回収しました。

閉会式では、影山会長が「大人は大きなゴミを拾いゴミ袋をいっぱいにする反面、子供たちは、小さいプラスチックゴミを一つひとつ丁寧に拾われていたことに感激した。今、海のプラスチックゴミの問題が大きくなっており、小さいゴミを魚が食べ、それを人間が食べることなどが問題になっている。日頃から環境問題を意識しましょう。」と話され、参加された皆さんには、ジュース・お茶、パンを配り、子供たちに喜んでいただきました。



子供達とのお米作りファーム

児童・青少年奉仕委員長 野津 俊宏

10月3日(月)、吉岡温泉町にて湖南学園の5年生と先生21名、地元支援ボランティア9名、ライオンズクラブより16名の総勢46名で稲刈りを行いました。6月に子供達とみんなで田植えをした苗も大きく実っており、秋晴れの心地よい天気の中、鎌で刈取り、刈取った稲を束ね、干すという作業を子供達は役割を分けテキパキとまた元気な声が飛び交う中行われました。

短い時間の中でもみんな汗をかきながら終わった作業の後には子供達からも「貴重な経験が出来た」、「毎日食べているご飯も大事に食べます」などの感想が出て来ており、子供達の素直な声を聞いて今回の事業に関われたことをとても嬉しく思いました。

子供達は自然の触合いの中で学べるが多くあり、今後もこのような機会を行っていただければと改めて感じさせていただきました。





鳥取環境大学へお米、 鳥取城北高校相撲部・鳥取こども学園へ お米とお餅贈呈

児童・青少年奉仕委員長 野津 俊宏

12月7日に鳥取環境大学へお米贈呈、鳥取城北高校相撲部・鳥取こども学園へお米とお餅の贈呈式をそれぞれ行いました。

お米は影山会長の熱い思いで湖南学園の子供たちと地元の農家の方々の協力のもとライオンズとしても初めての米作りを行い出来たものになります。

そのお米をわずかばかりではありますが鳥取環境大学の学生の皆様、城北高校相撲部、こども学園の子供たちに贈呈させて頂きました。鳥取環境大学の学生の中で県外から来られている学生は現在のコロナ禍でアルバイトが満足に出来ず日々の生活に苦勞されておられる状況をお聞きし少しでもお力になればと今回のお米贈呈に至っております。江崎学長はじめ学生の代表の方も参加頂き感謝の言葉を頂きました。

城北高校相撲部とこども学園に関しましては本来であれば多くの参加で賑わっている恒例の餅つきを行っていたのですが新型コロナウイルス感染防止の為今年も中止が決定し代わりのお餅と合わせて今回取れましたお米を贈呈しております。

鳥取城北高校相撲部の皆さんのとても丁寧な対応そして挨拶、また力強い稽古を拝見させて頂きこれが城北高校の強さの源なのだと感動致しました。こども学園の子供たちにも今回は直接お渡することができ、元気いっぱいの素直な子供たちの感謝の言葉にこちらが元気をもらえたように思います。

ただコロナでの餅つきの中止が今年で3年目になり餅つきがなくて寂しい、来年こそは餅つきをしたいとの言葉も出ておりましたので来年こそは開催出来るようにと強く願っているところでもあります。

各年代の子供達と本日は触れ合い、それぞれの状況の中で努力していることや困っていることがあるのだと改めて感じさせて頂きました。今回のお米とお餅が子供たちの活力に少しでもなってもらえればと思うとともに今後もこのような活動を継続して行っていきたいと感じました。

3ヶ所すべてに取材が来ており注目を集める事業なのだと思うとともにそれぞれに取材対応頂いた影山会長はじめ参加頂いた皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。



指導力育成セミナー開催

指導力・会報委員長 懸樋 真哉

11月30日、令和4年度第一回、指導力育成セミナーを開催させていただきました。

これまでは入会3年未満の会員の方を対象とした事業で20名規模程度での開催でしたが、今年度は当クラブ影山会長のご意向により入会5年未満の会員の方を対象とし、歴代会長を交えてスケールアップした指導力育成セミナーを開催させて頂きました。

当日を迎えるまでにコロナが流行し始めて色々心配事もありましたが全37名の皆さまにお集まりいただきにぎやかなセミナーを開催させて頂くことができました。

当日は歴代会長の皆さまに、これまでのクラブの歴史や志を、それぞれの時代ごとにご経験されてきたことを沢山お話しいただきました。皆様が長い歴史の中で育まれてきた思いを、世代を超えて共有させていただくことができたのではないかと感じております。

今年度は、この指導力育成セミナーをもう一回開催させていただく予定となっております。この会をとおして、これまで以上に魅力のある、いなばライオンズクラブとなれるよう委員会メンバー総出で取り組んで参りますので皆様よろしく願い申し上げます。ありがとうございました。





指導力・会報委員会アワー開催

指導力・会報副委員長 房安 光

11月2日の第1例会において、鳥取市福祉部長竹間恭子氏に「地域共生のまちを目指して」をテーマにした講演を頂く委員会アワーを開催致しました。

主として、鳥取市における福祉の現状、市民ニーズ、今後の政策等について、お話を伺いました。鳥取市福祉部は5課2室1センターで構成され、まさに「ゆりかごから墓場まで」の福祉政策を担当する市民生活の要とも言える部署です。

2015年に51,514人であった老年人口(65歳以上)は、10年後には58,316人になると推計されています。また、75歳以上においては26,814人が32,910人になるとされており、団塊世代が全員後期高齢者なる影響で実に1.2倍に増える見込みとなっています。「地域共生社会」は、これまで「支え・支えられる関係の循環」と捉えられ「地域における人と資源の循環」を目指しておりましたが、これに新たな事業として①断らない相談支援②つながりや参加の支援③地域づくりに向けた支援を加え、全世代的な「地域共生社会」実現の展開、構築を目指しています。私も昨年後期高齢者となり何かと不安も増しておりますが、講演を拝聴しこの取り組みに大変興味が湧いた次第です。ご多忙中にも関わらず講演頂きました竹間福祉部長様に感謝し、お礼申し上げます。



環境保全委員会アワー

環境保全・災害対応及び
救援(アラート)委員長 大田 斉之

12月1日の委員会アワーとして、鳥取市危機管理課・防災コーディネーターの山下行正様をお招きし、「防災について」講演をいただきました。

近年は、異常気象の影響もあり頻繁に激甚災害が起こっており、全国の土砂災害、大地震、津波、豪雨などの事例を映像も含め解説されるとともに、鳥取県での近年の災害も説明されました。

また、令和3年5月から避難勧告が廃止され避難指示で必ず避難するよう、変更となった5段階の警戒レベルや市内の避難訓練の状況、非常用持ち出し袋や備蓄品の考え方なども説明されました。

大切なことは、災害時の備え方として、正しく理解することで準備ができ冷静な行動がとれること、また自助・共助・公助の災害時の協力体制が重要と話されました。

そのためにも、市が全戸に配付している総合防災マップを再確認するとともに、とっとり市地図情報サービスの洪水浸水想定区域の活用、加えて、鳥取市防災ラジオや鳥取市防災アプリの活用を呼びかけられました。

今回の委員会アワーは、防災をテーマとしましたが、アラート委員会を組織しているライオンズクラブとして、日頃から災害に対する意識を持つておく大切さを感じる良い機会となりました。





LIONS CLUBS INTERNATIONAL
DISTRICT 336-B/7R-1Z
TOTTORI KYUSHO LIONS CLUB

2022～2023年度 鳥取久松LC会長スローガン 「温故知新」



鳥取久松ライオンズクラブ 第52期会長 上田 雅稔

明けましておめでとうございます。

ライオンズクラブの皆様におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。私が久松ライオンズクラブ会長に就任し早くも半年が経過しようとしておりますが、これまで同様新型コロナウイルスの蔓延に加え、ウクライナ戦争等を原因とする物価高騰という厳しい外部要因が重なり、ライオンズクラブの活動は制限されたままです。

このような状況ではありますが、ライオンズクラブの不屈の意思を地域社会に示すためにも、地域に貢献する活動を可能な限り継続していく途を模索し続けることが重要だと考えています。そして、近年の会員数減少傾向に対しては、従来からの活動内容を維持しながらも、地域に貢献しライオンズクラブの魅力向上につながるような新たな活動内容を開拓していくことが先決といえます。とりわけ小規模のクラブにとっては喫緊の課題であり、老若を問わず知恵を集めて対処しなければなりません。

本年が皆様にとって希望に満ちた一年になることを祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



鳥取久松ライオンズクラブ 幹事 秋山 光行

新年明けましておめでとうございます。

幹事に就任してはや半年が経ちますが、この半年を振り返ると、コロナの状況も不透明感が漂うなか、活動制限を受けながらも一定の前進があった半年だったのではないかと思います。

当クラブのメインアクティビティである「鳥取市敬老ボウリング大会」もコロナのため、昨年に続き見合わせとなり、納涼例会も中止となっており、もどかしさが残る反面、休眠状態であったクラブホームページのリニューアルにより情報発信が活発になったことや、認知症予防に関する出前説明会の実施、県立博物館での郷土史をテーマにした移動例会の実施等、例会を充実したものにする工夫もなされており、それなりに評価できる活動の変化もあったと思います。

今後の課題として、今年目標としている新規アクティビティの創出について、みんなが取り組むに相応しい活動はなにか、当クラブの特徴的な事業となるようなものを見つけたいと思います。

幹事として経験も浅く知識も乏しいですが、会員の皆様に支えられるなかで、会長の目指す理想のクラブ像を共有しながら、楽しいクラブになるよう、頑張りたいと思います。会員の皆様、本年もよろしくお願いいたします。

～青少年健全育成のため、継続して取り組んでいます～

『第45回鳥取市サッカーフェスティバル大会』後援

予選:11/5(土)・6(日) 決勝:11/19(土)
 於倉田スポーツ広場
 鳥取市東部31チーム参加
 クラブより開会式に出席、
 サッカーボール6球(公認試合球)寄贈

【大会結果】

◇優勝:面影 SC
 ◇第2位:浜坂蹴友クラブ
 ◇第3位:八頭 FC East
 鳥取 KFC U-12



日本ボーイスカウト鳥取連盟へ 令和4年度活動支援金贈呈

11/20(日) 於鳥取県民体育館
 令和4年度活動支援金を贈呈



『第50回鳥取市剣道大会兼 吉川経家祭剣道大会』後援

11/23(水・祝) 於鳥取市武道館
 18団体・40チーム・170名参加
 開会式に出席、参加賞等記念品代を贈呈



～6LC合同アクティビティ～

EM活性液活用事業 EM活性液プール投入

10/18(火) 於鳥取市立日進小学校
 体育委員児童・担当教諭参加



～6LC親睦行事～

7R-1Z・6LC親善 チャリティボウリング大会

11/14(月) 於スターボウル
 L秋山 L荒川 L木谷 L田中利明
 L津川 L橋本 L荒川昌代 7名参加



湖山池公園休養ゾーン公園化事業

当クラブ認証30周年の節目の年、当時鳥取市が整備を進めていた湖山池公園休養ゾーン(鳥取市福井地区)に憩いの場として東屋1棟を寄贈したことから、当休養ゾーンの整備に取り組んできました。

市民の皆さんにこの素晴らしい自然に触れていただきたいと、継続して様々な奉仕を続けています。

- | | |
|--------|---|
| 2000年度 | 【CN30周年記念事業】
◇東屋1棟寄贈 |
| 2004年度 | ◇草刈奉仕作業 |
| 2005年度 | 【CN35周年記念事業】
◇草刈奉仕・東屋塗装作業 |
| 2008年度 | ◇記念植樹 |
| 2009年度 | ◇ベンチ寄贈 |
| 2010年度 | 【CN40周年記念事業】
◇東屋塗装補修作業
◇休養ゾーン・福井地区オープンスペース周辺
植樹公園化事業 |
| 2019年度 | ◇苗木植樹 |
| 2021年度 | ◇東屋塗装作業 |

■2000年度 東屋



■2004年度 草刈



■2005年度 草刈



東屋塗装



■2008年度 記念植樹



■2009年度 ベンチ寄贈



■2010年度 東屋補修・植樹公園化事業



■2019年度 苗木植樹



■2021年度 東屋塗装



鳥取久松LCの楽しい例会♪



9月第2例会

し津川による会員の健康測定。
指先から、体内の老化物質の蓄積状況を
チェック。素晴らしい結果がでました！



10月第1例会 【鳥取県出前説明会】

鳥取県長寿社会課・寺谷課長補佐を講師にお迎
えして「鳥取県における認知症施策の現状と取
組」について講演して頂きました。



11月第1例会 ～移動例会～ 於鳥取県立博物館

鳥取県立博物館開館50周年企画展『すべてみせます！ 収蔵庫の資料たち』を県立博物館学芸課・
川上課長に案内して頂きながら、楽しく見学いたしました。

千代

会長スローガン 「 大きな力はチームワークから! We Serve 」



会長挨拶

会長 丸山 直正

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

ととお慶び申し上げます。

昨年会長に就任した頃は、コロナ患者が急激に増えてきて、10月の開催に向けて結成40周年の記念大会をどの様にしたら良いのかと悩まされました。

結局、会員と姉妹クラブの姫路広陵ライオンズの5名を迎えての大会となりましたが、とても良い大会になったと思います。

式典の前には、グラウンドゴルフ大会も行い楽しい時間を過ごすことも出来ました。

記念事業として池田家墓所保存会へ山門用の幔幕を寄贈しました。色々悩みましたが、保存会の皆様には大変喜んで頂いた様でした。

6LC親善チャリティーボウリング大会においては、見事に優勝を果たしました。クリスマス例会も開催しました。

その後、またまたコロナ患者の増加となり、本年最初のアクティビティである鳥取大学の留学生との交流餅つき事業も、2年続けて中止となっています。今年こそはと思っていますが何とか開催できればと願っています。

もし中止になれば、昨年実施した社会福祉事業へかき餅を贈る、かき餅づくりを実施する予定ですが、何とかコロナが落ちついて欲しいものです。

もう半年過ぎてしまいましたが、残りの事業、会員増強等まだまだやる事は山積みです。会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

会員皆様にとりまして本年がよき年となる事を願いまして、新年の挨拶とさせていただきます。



幹事の挨拶

幹事 伊藤 裕恵

新年あけましておめでとうございます。鳥取千代ライオンズクラブ、幹事の伊藤裕恵と申します。私はかねてより、こんなのが作れたら良いなあという代物があります。それはライオンズの募金箱です。募金箱にお金を入れると、“ガオ〜”と鳴き、“ありがとうございました”とお礼を言う代物です。イメージが湧かないという方はネットで「ライオン像募金箱 新宿東口」等で検索してみてください。その像を設置することで、ライオンズクラブって一体何をやっているところ?という事を市民の方に広く知ってもらえたり、募金先はその時々

の世情にあった先に送ったりと、継続性があるのでSDGsにも合っているのではないかと思います。新春らしく夢と希望のある私の願望を述べてみました。未だコロナによって制限があり、なかなか活動が思うように出来ませんが、これからも「We Serve」の精神で、出来ることをやっていきたいと思っています。今年もよろしくお願いいたします。



鳥取千代ライオンズクラブ結成40周年記念大会



大会委員長 笹田 博

鳥取千代ライオンズクラブは、昭和57年10月24日に鳥取いなばライオンズクラブのスポンサーにより、47名のチャーターメンバーで結成されてから、今年で結成40周年を迎えました。この間、昭和60年から姫路広陵ライオンズクラブと姉妹クラブとして交流を深めて参りました。

今回、コロナ禍での記念行事開催という事で華美にならず、日頃お世話になっている方々だけをお迎えしての感謝の集いと致しました。又記念事業として、40年継続している清掃活動の関係で池田家墓所に山門幕を寄贈しました。

令和4年11月現在の当クラブ会員数は18名と少数ですが、チャーターメンバーの熱き思いを引き継ぎ、ライオンズクラブの原点の「We Serve」を実施するとともに、ライオニズムの高揚に努め、諸々の事業やアクティビティを精力的に続けて50年、60年に向かって前進する所存です。



丸山会長 挨拶



姫路広陵LC会長 挨拶





鳥取藩主池田家墓所に 幔幕の寄贈

大会副委員長 片山 武夫

当クラブのアクティビティの中で、池田家墓所の清掃活動を40年続けて行ってきました。清掃以外にも、公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会と話をを行い、1992年10月25日に墓所手前の道路脇に奉仕塔一基を設置しました。幔幕の寄贈を行う事になった要因は、山門の幔幕の下をくぐり毎年墓所の掃除を行ってききましたが、何年も幔幕を見ていると幔幕に色褪せや布破れ部分が出来、取り換えが必要な状態になっている様な場所もあり、保存会に幔幕の寄贈を提案し、2010年から今年までの過去2回、山門用幔幕の寄贈を行ってきました。今年度鳥取千代ライオンズクラブ結成40周年記念を迎えるにあたり、記念事業として10月28日に山門用幔幕を寄贈させて頂きました。幔幕の図柄は池田家の家紋である因州蝶紋を幔幕の左右に配置した模様です。

鳥取藩主池田家墓所に行かれる機会がありましたら、是非幔幕もご覧になって下さい。



幔幕奉納



6LC親善チャリティ ボウリング大会優勝

市民奉仕委員長 戸田 達久

第33回6LC親善チャリティボウリング大会におきまして、我が鳥取千代ラインズクラブが個人戦2連覇致しました。昨年はL吉野、本年はL西村とバトンが繋がりました。団体戦におきましても昨年は3位と健闘し、今年は更なる上位を目指しチャレンジしました。L西村の大活躍は勿論ですが、事務局さんの大健闘もあって見事優勝！昨年優勝のL吉野を欠いての快挙ですので、来年BESTメンバーで臨む事が出来れば連覇も夢ではありません。コロナ禍で行動が制限される毎日ですが、来年こそは歓喜の笑顔でハイタッチできる様ライオンズ活動共々頑張ります。



団体優勝



個人優勝 西村



社会福祉施設への かき餅寄贈

前会長 尾崎 一芳

コロナ禍により、外国人留学生との餅つき交流会や資金獲得事業が中止となり、生活様式の変化にあわせて活動も継続していくべきと叡智を結集し、今夏、かき餅を作って、社会福祉施設へ寄贈しようということになりました。

当クラブとしては、製造業・飲食業に携わる優れたパフォーマンスを持つメンバーにより、新しい事業の立ち上げプロセスもスムーズでした。

かき餅を作るにあたり、6月と時季が適さなかったのですが、これらメンバーのおかげで、保存・保管・袋詰めまで難なく進むことができました。珈琲、ヨモギ、栃、青のり、黒ゴマなど色とりどりのかき餅が並びました。

初めてにしては、商品として売りに出せるような仕上がりにメンバーも驚嘆しました。

久しぶりの共同作業に話も弾み、会員同士の交流を深めることができ、寄贈先には、とても喜んで感謝されたことで、ライオンズクラブの目的が達成できた活動になりました。

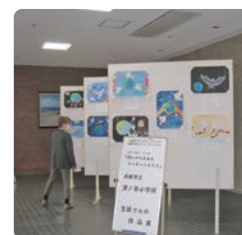
ライオンズクラブをPRするのは、アクティビティであり、会員の行動であります。今後も当クラブは、アクティビティにより地域社会にますます良い印象をあたえていきたいと考えます。



国際平和ポスター コンテスト優秀賞受賞

市民奉仕委員長 戸田 達久

国際平和ポスター地区選考結果におきまして、我が鳥取千代ライオンズクラブが長くお手伝いさせて頂いている、津ノ井小学校6年生の橋尾瑠花さんが出展してくれた作品が優秀賞を受賞致しました。2年前にも優秀賞を受賞した事があるのですが、今年はロシアによるウクライナ侵攻といういたましい現実があり、世界のリーダーが問われるテーマでした。同世代の子供達が犠牲となった事は心の傷となった事と思います。出品してくれた子ども達の願いが平和な日々が一日も早く現実のものとなる事を願うばかりです。これは我々大人の責任です。皆が笑顔で暮らせる世の中が来る事を願うばかりです。



津ノ井小学校6年 橋尾瑠花さん作品



6LC合同アクティビティ 「街頭献血」

社会福祉委員長 佐野 孝子

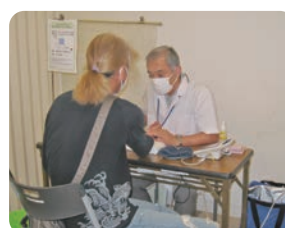
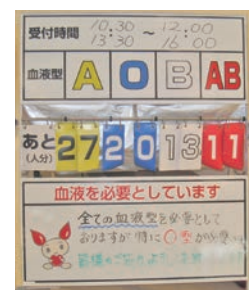
鳥取千代LCでは毎年奉仕活動の一環として、献血推進活動に取り組んでいます。例年通り7月10日にイオン鳥取北店に於いて実施しました。新型コロナウイルスの影響もあり、血液が不足していることを聞き「よし、頑張って献血希望者を募るぞ」と奮起したものの、ひとつも声を発することが出来ず、汗をかいだお地蔵さんが只々プラカードを持って立っているみたいに見えたでしょう。やはりコロナ禍の今では為す術もなく、献血希望者はほんの僅か。やはり今はこのような街頭でのPRは厳しいのでしょうか。

怪我や病気での患者さんの命を守るため輸血用血液を日々安定的に届けること、そしてその有効期限がとても短い輸血用血液を適切な基準で維持していくこと、この二つが何より重要ではないでしょうか。科学がこれ程発達した現代でも血液は人工的に作ることも長期保存も不可能なのです。

命をつなぐために輸血を必要としている人は沢山い

ます。自分自身がいつその立場になるかも知れません。救える命を私たちの献血で守りましょう。

コロナ禍であっても時代にあった献血活動が不可欠なことは言を俟たないことです。そこで今の時代に有効なネットでの献血活動がとても重要になります。先ず「ラブラッド」アプリの登録を知ってもらい登録をお願いしたいのです。ネットでの予約は献血未経験者でもアプリから簡単に全国の献血ルームの予約が可能です。誰かのために愛の血液を届けることに参加しましょう。そして登録しましょう。それはかけがえのない命を救うことが出来るのです。「ラブラッド」の登録を!!



砂丘

TOTTORI SAKYU LIONS CLUB

LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 336-B 7R-1Z



会長スローガン

「郷土愛 ライオンズ愛 愛をこめて”We Serve”」

新年のご挨拶



鳥取砂丘ライオンズクラブ 会長 田中 寛之

新年あけましておめでとうございます。

336-B 7R-1Zの6LC合同会報誌の発行にあたり新年のご挨拶を申し上げます。

本年度の会長スローガンは「郷土愛 ライオンズ愛 愛をこめて”We Serve”」とさせて頂き、私たちを育ててくれた郷土「鳥取」へ少しでも恩返しができるようなアクティビティーを通してライオンズ仲間の友愛を更に深めております。

年度初めに38名の会員でスタートいたしましたが、前期に5名の新会員が入会され会員43名となり奉仕の輪と仲間の輪がさらに広がっております。

そんな鳥取砂丘LCは本年度35周年の節目の年であり、6月4日の記念式典・祝賀会の開催、そして記念事業の成功に向けて実行委員会が奮起致しております。

また、25年ぶりにここ鳥取で地区年次大会が開催され我々クラブは前夜祭を担当させていただきます。地区年次大会の成功に向けて会員一丸となって頑張りますので皆様のご支援ご指導をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、皆様にとって幸多き年でありますよう心からご祈念申し上げます。

令和5年1月吉日

あけましておめでとうございます



鳥取砂丘ライオンズクラブ 幹事 安養寺 務

新年おめでとうございます。今期も半分の活動を終え、ようやく幹事の役割を理解できてきたかなと思っております。私は令和2年9月の入会ですが、コロナ禍真っ只中のライオンズクラブしか知らないの、行事の事など無知でありまして、田中会長をはじめ会員の皆様、理事の皆様にご迷惑をかけた半期のように思います。

あと半期となりましたが、会長が掲げたスローガン「郷土愛 ライオンズ愛 愛をこめて”We Serve”」をより体現できるように、会員の皆様と一緒に社会へ貢献できるよう頑張りたいと思います。

最後になりましたが、今期当クラブは認証35周年でございます。今までクラブの歴史に貢献されてこられました諸先輩に感謝しつつ、35周年の活動を実りあるものにし、未来の後輩会員のため、クラブの礎をより強固にできたらと思います。皆様どうぞ今年もよろしくお願い申し上げます。



「ゴミを拾って浜辺を活用 砂であそぼう!」

実行委員長 田嶋 広美

私たちは、新しいアクティビティを作り出すにあたって、時間をかけてじっくりと考慮に考慮を重ねてきました。新しい事業を考えることは大変なことです、鳥取らしさや鳥取砂丘ライオンズクラブらしい個性のある事業はできないのでしょうか。

そして行き着いたのが、今回開催した「砂であそぼう!」です。私たちのクラブ名にもある、砂地を使い誰にでも参加しやすい内容を考えました。また、まったくのゼロから作り出すのではなく、(一社)すなばスポーツの協力も得て助言や指導をしていただくことにしました。内容は、誰にでも参加しやすいようにビーチクリーン、ビーチテニス、ビーサン飛ばし、モルックと盛りだくさんですが素晴らしい事業ができたと考えています。

開催日は6月18日、鳥取市賀露にある海水浴場で行いました。ビーチテニスの大会のある日に合わせましたが(すなばスポーツ主催)、初めての事業ですから会場設営や運営に協力願えと考えたからです。数日前までの天気予報は雨で開催も危ぶまれましたが、当日はよく晴れて熱中症の心配もするほどでした。早速参加者全員でのビーチクリーン作業です。パッと見た感じはあまりごみはないように見えたのですが、実際に集めてみるとかなりの量が集まりました。自分たちの使う会場は自分できれいにしたいものですし、SDGsにも繋がります。

会場がきれいになりましたから、それぞれの競技会場に分かれてゲーム開始です。なにぶんにも私たちにとっては初めてのことから、順位を競うのではなく体験会の形をとらせていただきました。ビーチテニスはスポーツとして定着している競技ですからかなりハードでしたが、組み合わせを考えみんなに楽しんでいただけるようにしました。ビーサン飛ばしと北欧生まれのモルックは小さな子供たちから年配の方までどなたにでも楽しんでいただけたのではないかと考えています。

十分に協議を重ね、クラブ内向けに体験会を行ったりしてきましたが、トラブルはつきものです。競技に出る予定にの方がいないと思えば渚で遊んでいたりと、屋外のことで司会の声が届かなくてスピーカーを右に向けたり左に向けたりなどなど…。

このようにして新しいアクティビティを始めました。私たち鳥取砂丘ライオンズにとってはぶっつけ本番の要素が強く、反省点も多くあったように思いますが、どのような状況にも動じず対処できるメンバーの底力というものを感じた事業でした。次回には、より充実した内容で素晴らしいアクティビティになるものと確信しています。





移動例会を終えて

計画委員長 山本 典浩

丁度コロナ感染者も少し落ち着いたところで2年降りの開催となりました。今回会場を提供して頂いたのは創業150年の「とうふちくわ」老舗株式会社ちむら様でした。通常例会の後メインの、とうふ・鯛入りちくわの2種類の手作り挑戦です。材料を手ごねから竹の棒に巻き付けました。意外と難しく感じたのは私だけだったのでしょうか。中には本職では?と思うほど上手に作る方、又逆に、これちくわ?と思う様なものもありました。焼はお店の方をお願いしました。早速食べておられる方もいらっしゃいました。その後も和気あいあいと過ごせた様に思います。持ち帰り家族とともに食べましたが自分で作ったのは一段と美味しく感じました。参加された皆様お疲れ様でした。貴重な経験をさせて頂き、ちむら様にもお世話になりました。



鳥取砂丘ライオンズクラブ認証35周年記念 チャリティーグラウンドゴルフ大会

バザー実行委員長 野藤 晃寿

例年ですと鳥取駅前の風紋広場で、バザーや遊休品の販売、カラオケ等々でにぎわう、チャリティーバザーを新型コロナウイルス感染対策等のこともあり、チャリティーグラウンドゴルフと替えました。この大会は他クラブにも呼びかけ、多数の参加を頂きました。

前日まで天気予報は「雨」。田中会長と天気を心配しながら相談し開催することとなりました。そして当日。準備中は雨模様でしたがプレー中はピタリと止み、終わって間もなく暴風雨となんともありがたい天気となりました。皆さんの日頃の行いに感謝です♡

次の日は7R-1Z 6LCの親善チャリティーボウリング大会だったのですが、「昨日のグラウンドゴルフ大会は楽しかったです。」と他クラブの方に言って頂けた事は大変嬉しかったですし、また更に交流が深まったことは実感できました。

当日チャリティーしていただいた大切な募金は日本赤十字社に寄贈の予定にしております。その折にはご報告させていただきます。ご参加、ご協力本当にありがとうございました。



新 会 員 紹 介



田中 純子

この度、ライオン倉持スポンサー様によるお誘いを受け、入会するご縁を頂きました田中純子と申します。初めての例会では一つ一つが新鮮かつ、わからない言葉や行動にきょんとするばかりでした。これから一年を通して色々とお勉強させて頂きたいと思います。

この歳になりこのような会に入会するのも初めてで私に何が出来るのだろうと年間通して奉仕に関わらせて頂き、自分がまた新たにお役に立てることを見つけるのがとても楽しみです。明るくアグレッシブで素敵なメンバー様と出逢えた事にも感謝です。このコロナ渦の中、何か一つでも世の中の方々にお役に立てる事が出来る事が願いでもあります。

また、35周年の節目に入会出来た事にも感謝しておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



米花 陽志

9月に入会いたしました株式会社トータスの米花陽志と申します。以前からお世話になっていました福井様からお誘い頂きました。人生・事業の先輩方と一緒に活動できる機会を作って頂いた福井様に感謝しています。

今は、全体の活動内容などわかっていませんがライオンズクラブという世界に広がる組織の一員の加えて頂いた皆様に感謝しています。この大きな組織の一員として、自分に出来ることは小さなことかもしれませんが、自分なりに活動を理解し、社会の一員として活動していきたいと思います。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



前田 康一

10月に入会いたしました山口電業㈱の前田です。この度は鳥取砂丘ライオンズクラブへの入会及び入会時の例会では、大変お世話になり誠に有り難うございます。

これから様々なクラブ活動に参加させていただき、皆様との交流を深めていきたいと思います。また、ライオンズクラブのモットーである「われわれは奉仕する」のもと、奉仕活動に積極的に取り組み地域社会に貢献していきたいと思います。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



廣岩 一路

明生管工の廣岩一路と申します。この度は田中工業の聲高昌可様よりお誘い頂き鳥取砂丘ライオンズクラブに入会致しました。父の廣岩安治も皆様方に大変お世話になりました。父に負けずに、ボランティア活動・チャリティー活動など積極的に参加し、自己啓発に努めていきたいと思っています。どうか今後ともわからない事、至らない点も多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

第33回 6LC親善チャリティーボウリング大会成績表

2022年11月14日(月)鳥取スターボウルにて

団体の部

- 〔優勝〕 鳥取千代ライオンズクラブ 1,345点
〔準優勝〕 鳥取いなばライオンズクラブ 1,327点(1,923点)
〔第3位〕 鳥取砂丘ライオンズクラブ 1,327点(1,886点)
(団体戦は上位5名のトータルでの決定でしたが、同点の判定は参加者8名のトータルで決定させて頂きました)
〔第4位〕 鳥取中央ライオンズクラブ 1,231点
〔第5位〕 鳥取ライオンズクラブ 1,136点
〔第6位〕 鳥取久松ライオンズクラブ 1,120点

個人の部

- 〔優勝〕 西村 光司 (鳥取千代LC)
〔準優勝〕 光浪 房夫 (鳥取砂丘LC)
〔第3位〕 江原 忍 (鳥取中央LC)
〔第5位〕 山口 英晃 (鳥取いなばLC)
◇飛び賞 10位・20位・30位・40位・BB賞・11位(当月賞)・14位(当日賞)

◎チャリティー募金44,000円を鳥取市内8校で実施されたEM活性液活用事業のプール清掃(EM原液と糖蜜購入)に充当しました。皆様のご協力ありがとうございました。

あとがき



新年あけましておめでとうございます。
今年で2回目の6LC合同会報誌、少しずつですが交流が始まりつつある予感がします。
年々会員数が減少傾向にある中、こうして交流が持たれることは各クラブにとっても励みになると思います。一つのクラブでは出来ることは限られていますが、なにがしか合同で行える定期的活動等が出来る日が来ると良いですね。
鳥取LC MC委員長 福家 成夫



新年あけましておめでとうございます。6LC合同会報誌も2度目の発行となりましたことお慶び申し上げます。
2022年も新型コロナウイルスに右往左往させられましたが、そのような状況下でも各委員会の委員長のもと実施可能なアクティビティを行うことができました。
また、急な原稿の依頼にもかかわらず早く寄稿して頂いた皆様のおかげで活動内容を会報でも報告させていただくことができました。2023年の本年こそはコロナに制約されない年になりますよう祈念いたします。
最後になりましたが、6LC合同会報誌の発行にご協力いただいた皆様本当にありがとうございました。
鳥取中央LC PR・会報委員長 川本 竜哉



謹んで新年のお祝辞を申し上げます。旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。コロナ禍ではありますが、少しずつクラブでの活動も活発さを取り戻しつつあるのかなと感じております。私は会報紙編集を担当する委員会を2年連続でさせて頂いておりますが今年はアクティビティも活発で、掲載する内容量も増えてきて見ごたえのある会報紙となりました。最後にはなりますが、皆様のご健康をお祈りいたしますと共に会の活動がしっかりと行えることを祈念いたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
鳥取いなばLC 指導力・会報委員長 懸樋 真哉



新年あけましておめでとうございます。
このあしがきを書いているときは、またまたコロナ感染者が増加し、第8波か、などと言われています。
何分当クラブは、メンバーに福祉や公共関連の人が多く、アクティビティや親睦の会等の開催が思いどおりにならないことが多々あります。
今年こそコロナとの付き合い方も変わり色々な話題がこの会報誌に提供できることを祈ってます。
鳥取久松LC MC委員長 松下 稔彦



新年明けましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、健やかなお正月を迎えられた事と思います。
さて、昨年は中国武漢から発生した新型コロナウイルス感染症の大流行、2月、ロシアによるウクライナへの侵攻、21世紀には想像もできないような事態が起き驚愕しています。そして、まれにみる円安、諸物価の高騰と何かと大変な年でした。今年は一日も早いコロナウイルス終息と、ロシア、ウクライナ戦争の終結を願います。
鳥取千代LC PR委員長 林 正人



鳥取砂丘ライオンズクラブのPR会報委員長になり、ようやく半年が過ぎようとしています。今日まで、たくさんの経験やライオン交流を深めていく中での学びが多く、生きていくための財産となるものばかりだと思っています。特に実感していることは、人との接し方で、お話した時に物怖じしなくなり、何より自分に自信が持てているのではないかと考えております。これからもライオンの皆様との交流を大切に自分磨きに切磋琢磨していきたいと思っています。そのためには永遠なライオンとなるために、福井印刷の本業務をしっかり全うし地域に貢献し続けたいと思います。今後何卒よろしくお願い致します。
鳥取砂丘LC 会報委員長 福井 悦生